

ステークホルダーの皆さまへ

たゆまぬ技術イノベーションでお客さまに、そして社会に
貢献していきます

代表取締役社長 佐藤 潔

収益力の向上に向けた取り組みが成果を上げ、2007年3月期、東京エレクトロンは過去最高業績を達成したことをご報告申し上げます。好調な市場環境の後押しもありましたが、2年前にスタートした中期経営計画に沿って、社員一同の努力が実り、中間目標であった営業利益率17%を下期に超えることができました（上期14.9%、下期18.6%）。製品企画力・開発力の向上、品質造りこみなどの成果が数字に現れ始めた結果と捉えています。また、有利子負債の低減で財務の柔軟性が確保され、さらなる成長への地盤が固まりました。

今後の東京エレクトロングループは、

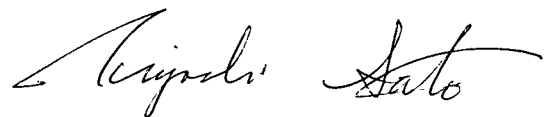
1. さらなる成長を目指します。

当社は、半導体製造装置市場において世界第2位の売上規模を持っていますが、シェアにすると10%に過ぎません。まだまだ伸びる余地は大きく、研究開発の成果を新装置・新事業へと結びつけることにより、大きな成長へチャレンジしていきます。それは、規模の成長のみを追うのではなく、高い技術に基づく高性能・高品質の製品を提供することにより、利益の成長も同時に実現するチャレンジです。

2. 地球環境問題に取り組みます。

今日、地球温暖化が大きな問題となっています。その対策の一つである省エネルギーと経済成長のバランスをどう取るのかが地球規模の課題と言えます。東京エレクトロンはその解決策は技術にあると考えます。製品群の環境負荷低減を真摯に進め、お客さまの生産がより少ないエネルギーで可能となるような技術革新を行っていきます。また、世の中には、素晴らしい省エネ素材や部品がありますが、量産技術が確立されていないために普及できないものが数多くあります。これを大量に、安定して、安価に生産できる製造装置の開発に取り組んでいきます。環境対応は、企業の社会的責任に止まらず、今日の企業の社会的使命と考えています。

東京エレクトロンは、中長期的な成長シナリオに基づく戦略を着実に実行し、これからもステークホルダーの皆さまのご期待に応えてまいります。なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 佐藤 潔